創立1880年

〒169-0051

東京都新宿区西早稲田2-3-18 日本キリスト教会館6階 Tel 03-6302-1960

URL http://tokyo.ymca.or.jp/ 発行所 公益財団法人

賛助会50周年

連携の歴史を振り返る

東京YMCAの使命

東京YMCAは、イエス・キリストによって示された愛と奉仕の精神にもとづいて、青少年の精神、知性、身体の全人的成長を 願い、地域社会に奉仕し、公正で平和な世界をつくるための運動を展開する。

強くサポートしている。

7月26日には、千代田

区の学士会館で

げてくださった。

まだ

「企業の社会貢

2018年度 賛助会表彰法人

●継続50年

株式会社日清製粉グループ本社 サントリーホールディングス株式会社 ライオン株式会社

株式会社資生堂

株式会社日立製作所

株式会社三井住友銀行 ユアサハラ法律特許事務所

株式会社白洋舍

●継続45年

- 木村農産商事株式会社
- ・株式会社タカサゴ
- 医療法人財団福音医療会
- ●継続35年

います。

山崎製パン株式会社

- ●継続20年 有限会社バンノ・インターナショナル 株式会社花藤
- ●新入会員 社会保険労務士法人礎

◇会費は年額30,000円~ ◇お問合せは賛助会事務局まで

賛助会のご案内

YMCAの主旨に賛同し会費等によっ て支援くださる企業等法人を募集して

青木建設株式会社

株式会社ロータスインターナショナル 株式会社信陽

株式会社アクアビルトコーポレーション

●継続40年以上

*今年は表彰年度ではありませんが、 下記企業にも永くご支援いただいています。

- ・パナソニック株式会社
- 日本電波工業株式会社
- · 株式会社木村洋行
- 株式会社小学館
- 三菱商事株式会社
- ・株式会社ニュー・オータニ
- ・株式会社ホテルオークラ東京
- ・株式会社日立ハイテクノロジーズ

んでくださった企業にあ

高い志をもって共に歩 クな歴史もある。

- ・株式会社芝パークホテル
- ・廣瀬ビルディング株式会社

社と株式会社白洋舍の功中から、ライオン株式会

くYMCAを支えられた

・イオン株式会社 ・有限会社保険ネットワークセンター

募金への協力、タイアッ ヤリティーイベントへの 方法で東京YMCAを力 費による支援のほか、チ 在128社が登録。 YMCAを支援する企業 ア事業など、

さまざまな ・団体による組織で、 が設立50周年を迎え 東京YMCA賛助 物品の提供、各種 「賛助会」は、東京 年会 現 表彰した。左記一覧の ともに10年目・20年目な を開催し、東京YMCA メンバーである。以前は 立される前からの発起人 年会・アドバイザー会」 建築募金など、時限的に ど節目の年にある企業を の事業活動を報告すると 行っていた募金活動を組 1970年に賛助会が設 継続50年の企業は、 ぼる。

会を結成してその輪を拡 織化しようと、自ら賛助 京YMCAも明治の設立ポートを得たからだ。東 れてきた。 のは、 以来138年、 代も企業・会員に支えら 一YMCAが発展できた 有力な実業家のサ いつの時

だが、他に多数あったボ ドンで誕生したYMCA ランティア団体の中で唯 YMCAと企業との関 創立時にまでさかの 1844年にロン 賛助会設立より 献」「企業の社会的責任 (CSR) などの概念

CAに関わったのであ に奉仕しようとしてYM が年を育成し、社会全体 進力となったのはキリスがなかった時代、その推 に関心のある企業は、青ト教だった。キリスト教 る。 第二次大戦後の195

〇年前後には、「日本Y の一つとして、約50の企 MCA五カ年前進運動」

と共に定期的に聖書が読 業内で「聖書輪読運動」 が行われ、YMCA主事

読キャンプ」という、 わば異業種間の社員研修 まれた。さらに「聖書輪 も開催されたというユニ 11

願いは一つ 企業とYMCA

日洋舎の二代目社長・

後は慶応大学の2年

でもあったライオン

株式会社白洋舍

(tel.03-6302-1960)

チームビルディングゲームないで紙コップを移動する→研修の一コマ。輪ゴムをつ 研修の一コマ。



五十嵐丈夫氏(1903~ ときにもYMCAの一員 として救護活動に参加し Aに所属。関東大震災の 時から教会に通い、慶応 チャンだったため、 の五十嵐健治氏がクリス 大学時代には学生YMC **に。YMCAを支援する** ワイズメンズクラブ」

て資金集めに奔走した。

社内では

「聖書輪詩

MCAの復興委員と 林富次郎氏らと共に、

社内に「白洋舍 産業YMCA」を設立

洋舍 産業YMCA 動」を行い、さらに

を

動を展開した。社是 開設して、クリスマス会 加するなど、積極的 を開いたりキャンプに の逸話が残されている。 引用されている。徹 さい (マタイ7-12) の人にもそのように もらいたいことは、 に顧客サービスには**ス** 「何事でも、自分にして 61年に東京YMC 会員増設 数々 共にし、資金援助の枠に 象としたリーダーシップ とどまらない形態での支 を作る機会としている。 ともに社員間のつながり ニケーション力を養うと から5年程度の社員を対 にわたり奉仕された。 ャンプを行ない、コミュ 年YMCA主事によるキ トレーニングのため、毎 まさにYMCAと志を 同社では今も入社3年

何をなすべきか問われて

される中、今、私たちは 強の動き等、平和は脅か 憲法改正の論議、軍備増 人間社会の未来を奪うこ

とに他なりません▼平和

セル地蔵」は物言わず、 います▼そして「ランド ライオン株式会社

直筆の聖句が記されているの定礎には、三代目富次郎氏→東京YMCA江東センター 14人ものがいーっとなるさかい 1976年 3月

明治時代から支援を続ける

0人を迎え入れるため多

の寄付をしたほか、

生基督教青年会」では、 各国からの訪問客約60

国際会議「第7回万国学

Aで開催された日本初の

翌年に東京YMC

から約10年にわたり理事委員長として活躍。51年 戦後は東京YMCA復興 長を務めた。 ャンプ」の礎も築いた。 就任直後に北米Y M C

A100周年のため

回を迎えた「山中家族キ に携わり、また今年第87 礎には「みんなの者が一 運営に携わり、青少年育 久威智氏ほか代々の役員 次郎」と記されている。 つとなるために 小林富 資金集めを指揮。その定 がYMCAの役員として その後も専務取締役・

われた。 力した。 葬儀も東京YMCA 実践」を貫いた。自身の 社是である「愛の精神の 仕組みを考案するなど、 善券」と称する寄付金の MCAの講師を招 の後も学生寮の建設 社員のため で行 るなど、抜きん出た行動 国後すぐ東京YMCAに 防医学に刺激を受け、 「健康管理医務室」を作

年に東京YMCA理事に

チャンであり、

富次郎氏は熱心なクリス 株式会社を創業した小林

891年にライオン

センターのキャビン建設 (喜一氏) は1932 三代目の小林富次郎氏 東京YMCA山 の際にも、委員長として 江東YMCA会館の建設 ていった。 オンで開催されて広まっ 動」も、その初回はライ を導いた。「聖書輪読運 力で戦後の東京YMCA 1976年に完成した

館を襲い、激化する空襲 蔵」と呼ばれています▼ 地蔵尊は「ランドセル地 められ、そのうち一体の | る一五三体の地蔵尊が納 如来襲した3機の米軍機 1945年7月8日、突 が相即寺に隣接する隣保 寺の縁故者を供養す

| を逃れて集団疎開してい た児童に機銃掃射をかけ ました。この時、周りで

に延命閣地蔵

相即寺という 古刹の山門脇

八王子の自宅

す。中には八 堂がありま

王子城落城の 際に戦死し

民学校4年生、神尾明治遊んでいて逃げ遅れた国

君が犠牲になりました▼

て、帰っていきました。 母親は、悲嘆にくれて、 悲報を聞いてかけつけた

り、東京YMCAを力づ 佐藤一男氏は、東京YM 協会など、YMCA以外 た。五十嵐氏の願いを受 の団体でも役員を務め われです▼故なく未来を の面影に似た一体に形見 延命閣に安置されていた のランドセルを背負わせ 地蔵尊をみつめ、明治君 「ランドセル地蔵」のい

CA常議員として23年間 もの未来を奪う戦争は、 のはかりしれない悲し 息子の命を奪われた母親 来です。故なくして子ど み。子どもは、社会の未 奪われた明治君の哀れ、

誰

もがほっとできる

Y O R U

1

1 i

b \mathbf{y} 才

プンスペ

レス1

i

b

 \mathbf{y}

が新規プログラ

7

世界のYMCA 同盟統計から 120カ国 約6500万人が活動

スイス・ジュネーヴにある世界YMCA同盟の発表 によれば、現在YMCAは世界120の国と地域にあり、 会員や職員、参加者など総計約6500万人が活動してい ます。

2012年調査時の119カ国5800万人から、約700万人が 増えたことになり、175年のYMCAの歴史の中でも最 多となりました。特に30歳以下の若い世代が全体の64 %を占めていることが大きな特徴と言えます。

▽世界同盟のサイトはこちら(英文) http://www.ymca.int/

催され、北京から32人の

CA山中湖センターで開 7月19~23日、東京YM

ファミリーが参加しまし

生などの笑顔と頑張り 医療福祉専門学校の留学

少しずつ表情がほぐ

シップ国際キャンプ」が 東京YMCAパートナー

学生と通訳スタッフをは

理 策

にほんご学院の中国人留

じめ、社会体育・保育専

門学校の学生リーダーや

第3回となる「北京

日は硬い表情でしたが、

会、富士山の五合目散

和太鼓体験、野外料

も日に日に大きくなり、

北京Y

 \mathbf{M}

 \mathbf{C}

A

の

親子30

来 H

Щ 中

で

第 3

回 0

国際キ

ヤ

多くの参加申込みがあり が広まっており、今年も どでこのキャンプの評判 た。中国では、SNSな

も多く、また子どもだけ

今年はお父さんの参加

れていきました。

会うことができました。

キャンパーたちは、

初

ーム&キャンプソング大 の参加もありました。

北京では日



-緒に準備し

大人気の「流しそうめん」。一緒に準備 て食べる中で、自然と会話も生まれます

子ども相談室「モモの部 主宰の内田良子さん

が7月7日に開催され 方連続講演会」の第3回 学院による「多様な生き スペースーibyと高等 東京YMCAオープン の生徒やその家族と共に さんを講師にお迎えし 生きてこられた内田良子 れ、永年にわたり不登校 「モモの部屋」を主宰さ 今回は、子ども相談室 ことの大切さを説かれ 因とみられる心身の不調

れる子どもに、学校が原 た。「モモの部屋」を訪 きちんと向き合っていく

に、子どもの心に大人が られるために」と題して 内田さんは講演の最初 「ありのままで生き けた。すると子どもの気 子どもの話によく耳を傾 学校が原因であれば休め 持ちはよくわかったし、

夏の醍醐味、流しそうめ んを楽しんでいます。 てきました。ここ数回は 力してくださる方も増え 行なっている方など、協 やコミュニティー活動を

*このプログラムの実施にあ たり公益財団法人倶進会の助

られる場所は必要なので め!と言われ、

の数は減らない。 の心には届かず、

タートしました。「夜」

(よるリビー)」をス

「寄る」をかけてお

協力者の皆さんが夕方

不登校の子どもたちに寄り

「モモの部屋」子ども相談室

内田良子さん講演

たに「yoru-lib

|月1回程度、16時から20 |い場所| をコンセプトに と繋がれる、かもしれな

時半まで活動していま

スペースーiby(リビ 「東京YMCAオープン

が、今年度から新

どもや若者たちの居場所

を通してそこにいる誰か っと゛"立ち寄れる゛"食

食事をします。そこに

し、18時頃からみんなで

に集まって夕食の準備を

理由から登録できない人

は、かつてーibyに登

ごしています。 また近隣 なでホッとした時間を過 も来るようになり、みん

録していた人や経済的な一で飲食店を営んでいる方

も、

生きづらさを抱えた子

っだれでも

法)」が作られたが、不対策法(教育機会確保 断されて薬が処方される 呼ばれ、学校に行くため を優先した結果だ、と現 れも学校に行かせること ことも多くなった。いず た。今は、発達障害と診 の対策ばかりがとられ 2016年に「不登校 「登校拒否」などと ありたいと思う。 その居場所が1 ようにも思える。 いる「レジスタンス」

倶進会の助成により実施しま*この講演会は公益財団法人

添う な人もそうじゃない人 もそうでない人も、元気 生きづらさを感じる人 はないかと1ibyスタ ッフとして日々感じてい

緩くてホッと安心して居 った。

子育てコラム

らえるようにしています。

して家でも楽しんでも

ろいろな絵本があります。その

中でも良い絵本とされているも

ことを問題ととらえて、 進めれば進めるほど、 て登校への圧力が高まっ 校に行きたくない子ども 登校させるための対策を ているが、学校に来ない 学

府統計で60万人という。 観にNOを唱えて、ただ もりも増えている。内閣 自分らしくあろうとして 彼らもまた、現代の価値 今、40歳以上の引きこ

かし当時は

東京YMCA高等学院で (高等学院校長

> 園では『舌川文庫』という本棚 た。現在、キャナルコート保育 おばけと戦ったりしていまし イメージの中で空を飛んだり、 んでは、登場人物になりきって んなどの絵本が好きで何度も読

子どものための本、大人が感動

と迷ってしまうことがあると思

います。日本の本、外国の本、

YMCAキャナルコート保育園

幼児主任

実

ほどの絵本があります。いった

しかし世間には数え切れない

そうやって一緒に選ぶのも絵本

の楽しみの一つなのかもしれま

いどんな絵本を選べばいいのか

せんね。

子どもたちに絵本の貸

したり教習

訓を受ける本など、い

が現れるようになった

状を嘆かれた。

頃、内田さんはとにかく

不登校の芽は早期に

る居場所が必要である。 ^{*}命の非常口_、となりう i b y

かこさとしさん、中川李枝子さ

はありません。

達の心の栄養と言っても過言で のです。まさに絵本は、子ども

本を選ぶときには、子どもの感 ません。本屋さんや図書館で絵 を得ようとしているのかもしれ きには、きっとその本から何か

性を頼りにしてみてください。

り、小さいころから日々触れ合 ってきました。日本の昔話や、

家にはいろいろな絵本があ

幼稚園教諭をしていたこともあ

の両方を通して、子どもの想像 ことができます。言葉と絵、そ

する力はぐんぐん成長していく

私は絵本が大好きです。

とで安心し

して話の中に入り込む

性があります。子どもが何度も して子どもにはそれを見抜く感 を引き付ける力があります。そ な絵本には自然と子どもの興味 密に選ばれています。そのよう られるように、言葉や文章が緻 のは、子どもがイメージを広げ

「もう一回読んで!」と言うと

く、またスキンシップを取るこ

絵本の楽しみ

ばストー

リーにも親しみやす 文さんに読んでもらえ ています。大好きなお

母さんおい

と言われて の安定にと

とても良いものである

語彙力の成長、情緒

校側が変わることはなか

るものであり、結局、学 登校の生徒に対策を講じ

いこともあり、 ャンプが開催されていな 本で行なわれるようなキ

されています。

どもたちやご家族に、

して欲しいと願います。

て、たくさんの笑顔に出 ムを渾身の身振り手振り の壁も自然と乗り越え MCAはパートナーシッ で進めていく中で、言葉 ーなど、数々のプログラ 東京YMCAと北京Y 山中湖の遊覧船ツア 進してまいります。 違いを乗り越えて一つの て草の根の平和運動を推 年の国際交流活動を通じ ような中国と日本の青少 できました。今後もこの ファミリーとなることが んなで歌い、踊り、その キャンプの終わりにはみ

のキャンプはとても評価 $_{\mathrm{C}}^{\mathrm{Y}}$

なら手をたたこう」の声 クマイソウル」と「幸せ ひ楽しいキャンプを体験 みんなが覚えた「ロッ 多くの子 ぜ アベット順で紹介されましたが、 ながらいつも決まり文句のように それはさながらオリンピックのよ 会式では国別にYMCAがアルフ 大会に参加して実感しました。開 言ってますが、7月にタイのチェ 最大の青少年団体です」と答えま うでした。国を越えてスポーツで ンマイで開催された世界YMCA 6500万人の会員を有する世界 ると、「世界120の国と地域に 総主事カフェにようこそ。 「YMCAって何?」と聞かれ 「本当にそうかなあ」と思い

今この会場にいる1300人が

2% 主事カフェ

東京YMCA総主事

淳

に話しかけ、話しかけられる」 っている人であるというだけで、 YMCAに連なり、「他の人のた 「老いも若きも笑顔が多い」

すが、世界中のYMCAにたぎる かったです。猛暑のせいもありま たが、帰国後日本の方がもっと暑 熱き思いを持ち帰ってきたからか 暑かったタイのチェンマイでし

菅谷

ーを体いっぱいに浴びた大会でし てない」など、YMCAのシャワ めに何か良いことをしたい」と思 ている」「祈りの時は誰も音を立 皆親友のように思えます。 「気軽 「常にいろいろな国の音楽が流れ 「知らない人同士楽しく食事をす

 \Diamond

なあと思いました。

ながっている団体のように思いま

つながるのがオリンピックだとす 「隣人愛」でつ

ば、YMCAは

PICK UP NEWS

「東京YMCAメールマガジン」でも情報をご覧いただけます。

*メルマガへのご登録・バックナンバー閲覧はこちらから⇒ http://tokyo.ymca.or.jp/about/backnumber.html



■キッズワールドカップ in 韓国 アジアの小学生100人がサッカー交流



「第9回YMCAキッズワールドカップ in 韓国」が8月6~10日、ソウルで開催され、台湾、香港、日本、韓国から約100人が参加。東京YMCAからは、江東センターのサッカーチームに所属する6人の小学生とインターナショナルスクール生の計7人が出場し、3位に入賞しました。

子どもたちは、初日のオリエンテーションで一緒になったソウルの小学生と仲良くなり、お互いに応援し合ったり、試合後もドッジビー(フリスビーのドッチボール)で遊んだり。身振り手振りで交流を楽しみました。韓国スタッフたちの親身な受け入れ体制もあり、子どもたちは試合中も特に気後れした様子もなく元気にプレーを楽しみ、日本チームとして初のトロフィーを獲得することができました。

雨のため予定していた市内観光は屋内プール遊びに変更となりましたが、やはり外国での大きな試合と交流体験は楽しかったようで、「来年も行きたい!」と今から張り切っています。言葉や文化の違いを越えてサッカーをした経験は、子どもたちにとって大きな成長の糧となっていくものと思います。

(江東コミュニティーセンター 米澤竜彦)

■ヒロシマ・ナガサキ原爆展 東陽町でパネル30枚展示

1945年8月6日広島、8月9日長崎に投下された原子 爆弾。そして8月15日の終戦記念日を迎えるこのとき に合わせ、「ヒロシマ・ナガサキ原子爆弾の記録」 のパネル展を8月6日から5日間にわたり東陽町コミュ ニティーセンタ ーで開催しまし た。原子爆弾の 製造から投下に いたるまでの経 緯、投下後の街

の姿、そして復



興への道のり。広島平和記念資料館からお借りした30枚のパネル展には、毎日途切れることなく訪れる人があり、延べ600名を越える方に観ていただくことができました。特に親子連れの方が多く、お父さんお母さんが子どもたちに説明している姿が印象的でした。「もうせんそうをくりかえしてはいけないと、とても思いました」。そんな子どもの感想も聞くことができました。平和の大切さを今一度確認し、次代につないでいきたいと願っています。

(東陽町コミュニティーセンター 沖利柯)

■オール東京 Y M C A 夏まつり リニューアル後の東陽町で

今年リニューアル された東陽町センタ ーに8月25日、オー ル東京YMCAの会 員が集まり、恒例の 夏まつりを開催しま



した。文字通りの炎天下でしたが、ジャズバンドの 演奏とともに賑やかに行なわれ、大人気のかき氷や 焼き鳥など14の模擬店のほか、バルーンアート、風 船すくいなどゲームコーナーもあり、来場者は暑さ も忘れて並んでいました。被災地物産コーナーでは 熊本、東北、新潟の麺類や地酒などが並び、あっと いう間に完売! また東陽町コミュニティーセンタ ーで9月からスタート予定の「にほんご de Cafe」 もプレオープンし、会員の用意した抹茶と和菓子を 囲み、各国の留学生等が日本語で会話を楽しみまし た。益金は、震災復興支援やボランティア育成など に大切に用いさせていただきます。

■小学生38人が保育ボランティアYMCAオリーブ保育園

夏休みにボラ ンティア体験を しようと、オリ ーブ保育園に38 人の小学生がお 手伝いにきてく れました。ほと



んどが当園の卒園児だったため、まるで我が家に帰ってきたかのようで、保育士たちも懐かしく、一緒に楽しく過ごすことができました。子どもたちは掃除、配膳、遊び、寝かしつけなどを、しっかりと担当。アンケートで楽しかったことを尋ねると「小さい子とあそんだこと」「とんとんしたこと(寝かしつけ)」などがありました。自分より小さい子どもたちと接することで"何かしてあげたい"と思う気持ちが育つ機会はとても貴重です。"誰かの役に立つことの喜び"が小さな心に大きく育つことを願っています。 (オリーブ保育園 園長 矢野久美)

■過ちが繰り返されぬよう 在日韓国YMCAと関東大震災追悼礼拝

毎月1日早朝 に開催してい る東京YMC A早天祈祷会 ですが、例年9 月1日は「関東



大震災記念追悼合同早天礼拝」とし、在日韓国YMCA (千代田区)と合同で行っています。今年は、卓志雄司祭(日本聖公会東京教区宣教主事)からメッセージをいただき、関東大震災直後のデマによって多くの朝鮮人が殺戮されたことについて改めて考え、無念の死への鎮魂の時をもちました。二度と過ちが繰り返されないように、未来に向かって心を合わせ、共に祈りました。 (会員部 小松康広)

東京一NY フロストパレー便り

サマーキャンプ中のある日の掃除の時間、 ほうきを持っているキャンパーがぼーっと立 っていました。「どうしたの?そこのゴミ、 集めてくれる?」と問いかけてもあまり反応 がありません。「ん?どうしたの?」と再度 問いかけると、「ほうきの使い方が分からな い」と返事がきました。日本の小学生であれ ば当たり前に使いこなすほうきですが、アメ リカで生まれ育った子どもにとっては初めて 使う道具だったのです。しかも彼の通う学校 では生徒が掃除をする習慣がなく、彼にとっ ては掃除自体が初めてだと言うのです。私は 自分の常識にとらわれていたことを反省しな がらも、ほうきの使い方を教えて一緒に楽し く掃除をしました。また同時に、掃除をする 習慣が自然と身につく日本の教育は素晴らし いとも感じました。

別のある日、「東京-フロストバレーパートナーシップ」のキャンパーたちと現地のアメリカ人キャンパーたちが合同でクッキングプログラムを楽しみました。ご存知のように「パートナーシップ」には、在米日本人の子

どもたちが参加していますが、彼らは実に積極的にアメリカ人キャンパーたちに話しかけていました。日本に住む日本人であれば、初めて会う、それも国籍も人種も肌の色も違うキャンパーにこんなに積極的に話しかけられるだろうかと思い、感心しました。日本人は自分の言動が周りからどのように思われるかを気にするあまり他者との関わりが消極的になりがちですが、アメリカに住む日本人は他者との関わりにおいてネガティブなイメージを持たないのです。

当たり前のことかもしれませんが、国が違えば文化も慣習も考え方も違います。そのため分かり合えない部分もありますが、その国の持つ背景、文化を知り、理解を深めることも出来ます。お互いの良い部分を理解し合い、影響し合い、吸収し合う。さまざまな国籍や文化的背景をもつキャンパー・スタッフが集うフロストバレーには、そのような環境が備わっていると感じます。

(東京-NYフロストバレーパートナーシップ 鳩山徹郎)

フィンスイミング世界選手権で8位

東京YMCA講師・関野義秀さん



東京YMCA社会体育・保育専門学校の専任講師でフィンスイミング日本代表キャプテンの関野義秀さんが7月14日-23日、セルビアの首都ベオグラードで開催された「第20回フィンスイミング世界選手権大会」に出場。4×200mリレーで日本チーム初の決勝進出を果たし、世界8位に入賞しました。

関野さんは選手としてだけでなく、日本チーム

総キャプテンとしてチームのマネジメントも担当。日本はリレー種目で5種目、個人種目で2人が決勝進出を果たしたほか、同会場で行なわれた学生選手権では、銀メダル2つ、銅メダル2つを獲得し、4つの日本新記録を達成するなど、好成績をおさめました。

足にヒレをつけて泳ぐ「フィンスイミング」は、秒速3メートル以上のスピードが出る水中最速競技ですが、日本では練習できる場も限られ、諸外国に比べて厳しい競技環境にあります。

「前回は9位だったので、どうにか決勝に進出したいと思って2年間がんばってきた」と関野さん。自身の練習だけでなく、日本でのフィンスイミングの推進のためにも日々努力しています。

2019年のアジア選手権は長野で開催されます。ぜひ応援くださ い。関野さんの紹介ページはこちら↓

http://tokyo.ymca.or.jp/about/interview_sekino.html